

令和3年度 若葉小学校教育プラン

(1) 教育プラン

【鳥栖市教育プランめざす子ども像】

ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持ち、よりよい社会の形成者としての資質能力をもった「鳥栖っ子」

- ◇ 必要な学力、豊かな心、健やかな体など、生きる力を身につけた人
- ◇ 志を持ち、自分を信じて、自分の力でやり遂げることができる自立した人
- ◇ 鳥栖や日本の自然、歴史、伝統、文化を愛し守り伝えることができる人
- ◇ 命の尊さを知り、相手の気持ちや考えに心を傾け行動することができる人

【田代中校区小中一貫教育 共通教育目標】

一人ひとりが夢や希望をもち 心豊かに学び続ける児童生徒の育成

合言葉 ～15の春にすてきな花を咲かせよう～



【若葉小学校 学校教育目標】

「美しい心もち 自分で考え やりぬく子」の育成
～**元気いっぱい** **笑顔かがやく** 若葉っ子～

活気にあふれ、やる気満々で主体的に取り組む

プラス思考・潜在能力・自己有用感の高まり

《めざす子どもの姿》

☆『やさしく』

思いやりの心を持ち、自分も相手も大切にできる子

☆『かしこく』

常に考え、自ら学習に取り組み、確かな学びを積み上げる子

☆『ただしく』

規範意識や判断力を持ち、主体的に活動すると共に、感動し、感謝できる子

《めざす教師の姿》

☆子どもたちに出番を与え、ねばり強く待ってよさを伸ばす教師

☆自己を高めようと研鑽する教師

☆同僚性をもって協働しようとする教師

☆高い倫理観をもつ教師

☆ワークライフバランスを大切にする教師

指導部

健やかな育ち部

【あいさつが
いっぱい】

規範意識
判断力の育成
『ただしく』

確かな学び部

【わかったが
いっぱい】

確かな学力の
積み上げ
『かしこく』

豊かな心部

【ふわふわことばが
いっぱい】

自己有用感の
高まりと
豊かな心の育成
『やさしく』

校内研究

研究主題
「主体的・対話的な学習を通して、自分の考えを表現できる子どもの育成」
～ユニバーサルデザイン化を
目指した授業づくり～

【本年度教育の重点】

- ① 若葉授業とスキルタイム、家庭学習習慣の定着による確かな学びの積み上げ
- ② 心の教育（道徳、人権・同和教育、学級活動）による自己有用感の高まりと豊かな心の育成
- ③ 出番・役割の設定→承認・称賛と共通の指導による規範意識・判断力、主体的な態度の育成

支援・連携

保護者 ・ 地域

《児童の実態 学校への期待・願い 地域の特性》

《鳥栖スタイルの実践 「挨拶・掃除・食生活」》

鳥栖市教育大綱～羽ばたけ！ふるさと鳥栖の未来を拓くひとづくり～

令和3年度 若葉小学校教育プラン

(2) 本年度教育の重点項目

教育活動の柱となる方針「開発的な関わり」→「共通の理解・共通の指導」←「考えさせる習慣」

※ 出番・役割→承認・称賛のスパイラル

① 若葉授業と家庭学習習慣の定着による確かな学力の積み上げ

- 若葉授業（共通の学習スタイルと共通の学び方指導）による確かな学びの積み上げ
- 授業づくりのステップ（1・2）1・2・3の活用
- 日頃より「考える」習慣をつけさせる全校的な取り組み
- 小中9年間を見通した全校共通した学習習慣（学習の約束、学習規律）の定着
- 田代中校区における小中9年間を通した教科「日本語」の授業公開、「外国語」の授業実践、授業参観、研究会等の交流
- ICTを利活用した新たな学習スタイルの導入と危機事象におけるオンライン授業の準備
- 子どもの読書習慣を定着させる読書指導の充実
- ユニバーサルデザインの視点に基づく学習環境、授業づくり
- 基礎技能・基礎学力の定着に向けたスキルタイムの充実
- 「家庭学習の手引き」、家庭学習強化週間を活用した家庭学習習慣の定着

② 心の教育（道徳、人権・同和教育、学級活動）による自己有用感の高まりと豊かな心の育成

- 個を大切に、一人ひとりがいきる学級経営
- 道徳、学級活動（話し合い活動）を核とした全教育活動における心の教育の充実
- 子どもの自己有用感を高める全校的な「承認・称賛」の取り組みおよび家庭や地域と連携した「承認・称賛」の取り組みの展開
- 一人ひとりのよさを尊重する人権・同和教育の充実
- 子どもに寄り添い、個に応じた支援を行う全校的な特別支援教育の充実
- マナー教室を通した正しいことば遣いや礼儀の意識づけと実践化
- 無言そうじの徹底・継続
- ボランティア活動を通したボランティア精神の育成

③ 出番・役割の設定→承認・称賛と共通の指導による規範意識・判断力、主体的な態度の育成

- いじめ予防、早期発見に向けた「いじめ・いのちを考える日」を中心とした取り組みの充実
- チームでのいじめの早期発見と早期対応
- 生活目標の具体的指導の共通理解を図る生徒指導協議会の充実
- 「全職員の共通した指導の徹底」および「積極的な承認・称賛」による基本的生活習慣の定着、規範意識・判断力の育成
- 子どもの成長を促す開発的な生徒指導の展開
- 子どもの問題行動に対する学年グループを中心とした生徒指導体制
- 自分や相手の命を守る安全意識の高揚（11月＝安全教育の日＝ミニ避難訓練の実施）
- 健康な体づくりに向けた「早寝・早起き・朝ごはん」を中心とした基本的生活習慣の定着
- 体力の向上に向けた運動習慣の定着、外遊びの奨励
- 子どもの「出番」「役割」を多く設定し、子どもたちにまかせる学校行事や児童会活動の展開
- 地域の各団体・保護者との連携における子どもたちの「出番・役割→承認・称賛」の場づくり

④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた新しい学校での生活様式の定着

- 毎日の検温チェック表による体調管理の把握と健康観察
- 新型コロナ対策の合言葉である3つの柱「空気の入換え」「手洗い」「マスク着用」の徹底
- 飛沫に対する対策による体育・音楽・家庭科・給食中の一人一人の行動と意識の向上
- 学校全体での感染者や関係者に対する誹謗・中傷の根絶に向けた指導の徹底

【令和3年度 校内研究】

「主体的・対話的な学習を通して、自分の考えを表現できる子どもの育成」
～ユニバーサルデザイン化を目指した授業づくり（国語科・教科「日本語」）～